

Cyber Vision Centerでのエラーのトラブルシューティングとファイルシステムチェックの実行

内容

[はじめに](#)

[ファイルシステムのチェックを実行する手順](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cyber Vision Center(CVP)サーバでファイルシステムチェックを実行するために必要な手順について説明します。これは4.xソフトウェアトレインに適用されます。

ファイルシステムのチェックを実行する手順

1. 次のテキストが表示されたら、Tabキーを押して、Centerサーバをリブートし、レスキューモードで起動します。

```
SYSLINUX 6.04 EDD 28198226 Copyright (C) 1994-2015 H. Peter Anvin et al
Welcome to SBS
```

2. 次のブートメニューが表示されます。

```
boot :
      SBS  SBS-factory
```

3. コマンド「SBS-factory」を上記のように入力します

4. ユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザ名 : root

パスワード : sentryo69!

5. ファイル・システムをアンマウントします。

cd /

```
umount -f /dev/disk/by-label/SBS-Data
```

6. fsckコマンドを実行します

```
fsck.ext4 -v -f -y /dev/disk/by-label/SBS-Data
```

最終的な出力は、導入環境のファイル・システムに応じて次のようになります

```
Pass 2: Checking directory structure
Pass 3: Checking directory connectivity
Pass 4: Checking reference counts
Pass 5: Checking group summary information

    3818 inodes used (0.02%, out of 16318464)
      133 non-contiguous files (4.4%)
        2 non-contiguous directories (0.1%)
          # of inodes with ind/dind/tind blocks: 0/0/0
          Extent depth histogram: 2982/23
1719313 blocks used (2.63%, out of 65273344)
    0 bad blocks
    1 large file

    2810 regular files
      193 directories
        0 character device files
        0 block device files
        0 fifos
        0 links
        6 symbolic links (5 fast symbolic links)
        0 sockets

-----
    3009 files
root@rescue:/#
```

サーバから引き続きエラーが報告される場合は、TACサービスリクエストをオープンして詳細な診断を行います。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。